

NarKingi News

NARA AMT

No. 302

JUL.2019

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

〔事務局〕 〒632-8552 天理市三島町 200

〔発行責任者〕 勝山 政彦 〔編集責任者〕 岸森 千幸

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 (TEL) 0743-63-5611 (7439)

第 36 回奈良県医学検査学会で会長賞を受賞して

天理よろづ相談所病院 小阪 慎

令和元年 5 月 26 日 (日) に奈良県立医科大学附属病院大講堂で第 36 回奈良県医学検査学会が開催され、私は一般演題において、「術中神経モニタリングは術後神経合併症を予測できるか」というタイトルで発表させて頂きました。発表を終えた私は、緊張してかなり早口になってしまったことや、質疑応答でスマートに答えることができなかったことなどを振り返り、悶々としていましたが、すべてのプログラムが終了して表彰式が始まり、そこで自分の演題名がアナウンスされたときに、発表に至るまでの努力が報われたように感じ、一転して晴れやかな気持ちになったことを覚えています。

術中神経モニタリングは近年急速に普及が進んでいる分野であり、勉強会に行っても近隣のみならず遠く離れたところからはるばる来られる方も大勢おられ、注目度や需要が高まっていることを感じます。一方で、まだまだ解明されていないことも多く、アラームポイントについても統一された基準は未だに決まっていないという現状があります。そこで、今回私達は、当院で実施された術中神経モニタリングの結果と術後の症状が一致しているか後ろ向きに調査を行い、術中神経モニタリングが術後神経合併症を予測できるのか検討しました。地道なデータ収集にはかなりの時間と労力を要しましたが、それに見合う成果が得られました。検査レポートと臨床経過を振り返ることで、その波形変化が患者さんにとってどのような意味を持つのかということが少しずつ分かってきます。教科書や論文には様々な学問的知識が記載されており、検査を行う上で頭に入れておくことは重要ですが、臨床現場においては、それと同じくらい生のデータと 1 つずつ向き合って積み重ねた経験が生きてくると思います。術中神経モニタリングに限った話ではありませんが、自分が担当した検査をカルテで振り返ることの重要性が分かりました。



今回の発表を通して多くのことを学びましたが、私一人では何も出来なかったと思います。検討の方向性を定めて様々な助言を頂いたり、参考になる文献を提供して頂いたり、抄録を添削して頂いたり、多くの方々の支えがあって発表することができました。私はまだまだ検査を覚える段階の半人前ですが、1日も早く1人前となって恩返しできればと思います。そして、患者様に貢献できる検査を目指して、日々研鑽を重ねていきたいと思っています。

学術奨励賞を受賞して

天理医療大学 野口 延由

先の5月26日に開催されました第36回奈良県医学検査学会にて、一般演題「全ゲノム解析による *Escherichia coli* ST131 パンデミック要因の探索 ～C1-M27 パンデミッククレードの特異的遺伝子変異の探索とその相互作用予測～」という内容で発表させて頂き学術奨励賞を受賞致しました。

今回の発表内容として、近年の分子生物学の発展の要である次世代シーケンサー(NGS)を用いた発表を行いました。NGSが登場して以来、ゲノム解析のスループットは半導体における「Mooreの法則」をしのぐペースで高まってきました。ヒトゲノム解読に2003年に成功した国際プロジェクト(Collins FS et al. Nature, 2003)では、塩基配列の解読に13年という時間と、30億米ドルもの費用を費やしましたが、これに対し現在では1000米ドルほどの費用で数日間での解析可能となってきています。

目覚ましい技術革新によってシーケンサーという複雑な装置の利用が個人の研究者へと広げられており、いまだ停滞がみえない速度で進歩しています。臨床の現場にて使用される日もそう遠くないと考えられており、ただ単にルーチン業務や研究を行うのではなく、常に臨床の現場に還元できることを考え、“Research mind”を持って今後も頑張っていきたいと思っています。



奈良学会に参加して

奈良県総合医療センター 吉村 薫

令和元年5月26日に行われた第36回奈良県医学検査学会で演題の発表をさせていただきました。多くの素晴らしい演題がある中、賞をいただき光栄に思います。

奈良学会には専門学生のころから参加し、先輩技師たちの発表を聞かせていただいております。その

当時、沢山の演題と堂々とした姿で発表される先輩方を見て感銘を受けました。わたし自身、大きな学会で発表することが初めてでとても緊張しましたが無事に発表を終えることができ安心しました。

わたしは昨年4月より血液検査室で業務を担当し、検査データの見方や血液形態の目視およびカウントを学ばせていただきました。はじめは見たもの、報告したものが診断に繋がるかもしれないという怖さがあり苦手意識が強かったのですが、毎日形態を観察することで技術を養い、指導技師や先輩技師に教わることで少しずつ観察力をつけることができたように思いました。

今回、発表させていただいたAPL細胞の形態変化を追うにあたり、苦戦した部分も多々ありました。ベテランの目には見えるものがあるけれど、未熟な目では追っている細胞と認識しにくいものもみられ何度も見直し、カウントし直すこともありました。しかし、見分けるポイントやどんな細胞を捉えているか話し合いながら検討を進めることができました。

また検討を通して、改めて鏡検の大切さ重要さを知ることができました。検査の機械化が進む中、血液検査業務において鏡検だけは人の目でしか捉えることのできない重要な検査だと感じました。

本番前日まで何度もリハーサルを行い、アドバイスをいただいたので本番も大丈夫だと思っていましたが、緊張してしまい質問に対する受け答えが上手にできなかったことを反省点とし、次にこのような発表の機会があるときに活かしたいと思います。

< 生涯教育研修会のお知らせ >

術中神経モニタリングのノウハウ〔専門-20〕

講師：高谷 恒範 会員（奈良医科大学 中央手術部）

日時：2019年7月5日（金）18時30分～20時00分

会場：県立医科大学附属病院 中央臨床検査部技局 スキルスラボ棟 4階

担当：神経検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】近年、術中の神経モニタリングが普及されつつあり、施行のための知識や技術を習得する必要性が高まっています。勉強会を通じてその知識や技術を習得・発展させていくことは脳疾患や脊椎脊髄疾患を対象として外科的治療に関係する医療従事者にとって大変意義のあることといえます。今回は、臨床検査技師を対象に術中の神経モニタリング施行のための勉強会を企画いたしました。

【問い合わせ先】高谷 恒範（県立医科大学附属病院 中央手術部） Tel 0744-22-3051(4240)

e-mail takatani@naramed-u.ac.jp

実践！特徴で覚える不整脈の判読法〔専門-20〕

講師：竹原 真帆 会員（天理よろづ相談所病院）

日時：2019年7月12日（金）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来診療棟 5階 中会議室

担当：機能検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】今回の勉強会では、日常臨床で遭遇しやすい症例を中心に、各症例の特徴的な心電図所見についてお話ししたいと思います。たくさんの種類のある不整脈ですが、特徴を押さえれば意外と簡単です。みなさんこれを機に一緒に基本を固めていきましょう。沢山の御参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】佐藤 妙恵果（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4221）
e-mail komiyama@naramed-u.ac.jp

尿沈渣検査の極意 part3～円柱・結晶類～〔専門-20〕

講師：飯尾 洋紀 会員（奈良県総合医療センター）

尾崎 里美 会員（奈良市総合医療検査センター）

日時：2019年7月18日（木）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟 5階中会議室

担当：一般検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】尿沈渣検査の極意part3は円柱・結晶類の成分について解説して頂きます。

【円柱】は奈良県総合医療センターの飯尾会員、【塩類・結晶類】は奈良市総合医療検査センターの尾崎会員に講義して頂きます。いずれも各成分に関する基礎知識から、日常業務に役立つ情報も含め講義して頂く予定です。是非多数のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】北川 大輔（奈良県総合医療センター） Tel 0742-46-6001（2526）
e-mail d.kitagawa.med@gmail.com

奈良医大研修会から振り返る薬剤感受性検査〔専門-20〕

講師：山下 貴哉 会員（市立奈良病院）

日時：2019年7月19日（金）18時30分～20時00分

会場：市立奈良病院

担当：微生物検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】6月8～9日に奈良医大で開催した、技師と医師を対象とした微生物研修会の補足を目的とした勉強会です。薬剤感受性試験の要点や、耐性菌検出等について市立奈良病院の山下会員に講義頂きます。ふるってご参加下さい！

【問い合わせ先】阿部 教行（天理よろづ相談所病院） Tel 0743-63-5611（8665）
e-mail abepenem@tenriyorozu.jp

体腔液細胞診の見方・考え方〔専門-20〕

講師：羽原 利幸 先生（公立学校共済組合 中国中央病院）

三浦 弘守 先生（東北大学病院）

日時：2019年7月20日（土）13時00分～17時30分

会場：奈良県立医科大学基礎医学公舎5階 実習室

担当：細胞検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】体腔液細胞診の勉強会（講義と実習）を開催し、知識と見方を習得します。講義は、「疾患からみた反応性中皮の形態学的特徴」、「体腔液塗抹染色標本における細胞分類の適切な観察方法」、「体腔液細胞診における中皮腫の捉え方 -患者を見落とさないために-」のテーマで行います。実習は、検鏡を行います。興味のある方の参加に制限はありませんので、会員の皆様はふるってご参加下さい。なお、本勉強会には細胞検査士単位が付与されます。

【問い合わせ先】龍見 重信（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4303）
e-mail statsu@naramed-u.ac.jp

大阪府臨床検査技師会 ・ 兵庫県臨床検査技師会 共催

大臨技免疫化学検査部門 7月特別講演会

「検査の現場から考える精度保証」

定員：110名（事前申し込み制）

場所：大阪私学会館 301+302+303号室（JR東西線 大阪城北詰3号出口徒歩2分）

日時：7月27日 14:00～16:45（受付 13:30～）

会費：日臨技・大臨技・兵臨技会員 500円 非会員 1,000円

（当日、受付でお支払いください）

【認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師指定講習会 A5 単位】

前半テーマ『業務に活かす品質改善活動』

- ・ 「精度保証における検査室管理上の要求事項 -ISOと法改訂の視点から-」
講師：狩野 春艶（兵庫医科大学病院）
- ・ 「精度保証における内部監査 ～隣の部署の精度保証を確認しよう～」
講師：繁 正志（大阪医科大学附属病院）

【認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師指定講習会 B5 単位】

後半テーマ『皆さんどないしてんの？内部精度管理と管理幅』

- ・ 「精度管理幅について ～設定から修正・是正措置まで～」
講師：福井 直希（大阪市立総合医療センター）
 - ・ 「精度管理の理想と現実-精度管理幅設定の現状-」
講師：久富 大樹（関西労災病院）
 - ・ 「ISOと法改訂に対応するための検査室技術的要求事項とは」
講師：渡邊 勇氣（神戸大学附属病院）
-

奈臨技行事予定

7月		行事(略)	担当	7月		行事(略)	担当
1	月			17	水		
2	火			18	木	尿沈渣検査の極意 part3	一般検査
3	水			19	金	薬剤感受性検査	微生物
4	木			20	土	体腔液細胞診の見方・考え方	細胞検査
5	金	術中神経モニタリング	神経機能	21	日		
6	土	Basic cytology 第6回	細胞診	22	月		
7	日			23	火		
8	月			24	水		
9	火			25	木		
10	水			26	金		
11	木	第4回通常理事会		27	土	Basic cytology 第7回	細胞診
12	金	特徴で覚える不整脈の判読法	機能検査	28	日		
13	土			29	月		
14	日			30	火		
15	月			31	水		
16	火						

* 行事参加される方は、奈臨技ホームページにて日程・会場等の変更の有無をご確認下さい*

* <http://naraamt.or.jp/> *

編集後記

夏休みも間近となりました。年金制度の破綻、AIの医療業界進出、終身雇用制度の崩壊など、最近なんだか怖いニュースばかり流れていますが、あまり悲観的にならずに、ビールでもグイッと飲んで頑張っていきましょう。(楽観的になりすぎでは駄目ですが・・・) 社会の中における自らの価値を高められるよう、広く見て深く考え、行動して人と繋がり、変化を恐れぬ心を持ち続ける。そのようなマインドセットで先輩方の背中を追っていきたく願う今日このごろです。

ビールがうまい季節よ、ありがとう。

広報委員M